

平成29年第9回木島平村教育委員会定例会会議録

1 開催日時 平成29年9月27日(水) 15:30~16:47

2 場 所 木島平村役場 議員控室

3 出 席 教 育 長 内堀 幸夫
同 職 務 代 理 佐藤 秀雄
委 員 山崎 麻紀
委 員 本山三智子
委 員 池田 剛

4 出席した事務局職員

子育て支援課長 山崎 真澄
生涯学習課長 高森 喜久
子育て支援係 芳川 秀人

1 開 会 午後3時30分

2 前回会議録朗読承認（署名）

平成29年8月23日開催の第8回教育委員会定例会会議録を山寄子育て支援課長が朗読し、出席委員全員が内容を確認のうえ、全員が承認し署名した。

3 教育長報告

- (1) 第8回定例会以降の主な会議等の出席状況等について報告した。
- (2) 8月市町村教育委員会連絡会の際に示された資料に基づき要旨を資料1（非違行為の根絶、時間外勤務時間縮減、学校教職員等人事異動方針他）により報告した。
- (3) 9月村議会定例会教育委員会関係一般質問（全国学力テストの見直しを他、人権施策の推進について、高校再編に対する村の対応について）とその答弁内容について資料2により報告した。
- (4) 8月31日に開催された岳北地域懇談会で話し合われた内容について、資料3により報告した。

4 協 議

- (1) 木島平村いじめ防止基本方針（案）について

○説 明

内堀教育長

それでは私の方で進めさせていただきます。

資料4ですけれども、木島平村いじめ防止基本方針（案）を何回か議論いただいています。最終案として考えていきたいと思いますが事務局から何か説明することがあればお願いします。

山寄課長

特段ありませんが、この木島平村いじめ防止基本方針は今回最終案ということで出させていただきます。基本方針につきましては4月の第4回の定例会に最初の提案を差しあげ、校長園長会等で各校の意見を聞きながら修正。そして皆さんからの意見をお聞きしながら5、6、7回ということで協議をいただいております。そして7回の時になからよろしいのではないかと

お話をいただいた中で8月の第8回定例会では協議をいただかずに、その間、関係する小・中学校に戻して意見徴取を行っております。教育長の話のとおりであります。その中で了承ということで確認をしたということでありまして、今回最終案としてご提案申し上げることになりました。よろしく願いいたします。

○質 疑

内堀教育長

山寄課長が説明申し上げたとおり何回か議論いただいております。ご意見があればもちろん修正いたしますが、もし確認よろしければこれを成案とさせていただければと考えて今回提案をさせていただいたものです。何かご意見ございますでしょうか。

佐藤委員

良いと思います。小・中で審議してもらってあるということであれば。

内堀教育長

ご意見も無いということで、これを成案とさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

(2) 行事等の共催後援の承認について

○説 明

内堀教育長

それでは次に行事等の共催後援の承認について事務局からお願いいたします。

山寄課長

資料5をご覧くださいと思います。2件ございます。

○資料5に基づき説明

① 北信地区初導入！タンブリングトランポリン体験会 後援

申請者 特定非営利活動法人 北信州体操クラブ

理事長 刈屋慶一

日時 平成29年12月3日(日)

10:00～17:00

場所 中野アリーナ

② 児童・生徒理解講演会 後援

申請者 長野県教職員組合 下高井支部

執行委員長 山崎秀樹

児童生徒理解専門委員長 中村仁志

日時 平成29年11月11日(土)

午後2:00～4:30

会場 中野市市民会館 41号会議室

○質 疑

内堀教育長

今、事務局から説明があったように、一つは特定非営利活動法人北信州体操クラブになります。もう1件は長野県教職員組合下高井支部です。いずれも例年承認をしている内容だという説明です。何かご意見、ご質問等ございますか。

無ければ2つの申請について承認することとしてよろしいでしょうか。

教育委員

はい。

○出席者全員が後援することについて承認した。

(3) その他 (特に無し)

5 報 告

(1) 保育園及び小中学校の状況

山寄子育て支援課長が、資料6に基づき保育園及び小中学校の状況について報告した。

(2) 行事等の共催後援の承認について

山寄子育て支援課長が、資料7に基づき「第54回高社山一周駅伝大会」について、後援事業の開催日時が平成29年9月18日、「第18回「みゆき野カップジュニアサッカー大会」」の後援について、後援事業の開催日時が2017年9月16日、「ふぁみフェス2017」の後援について、後援事業のチラシの制作の原稿提出期限、「一般社団法人みゆき野青年会議所10月事業みゆき野サイクリング～君とBy by e bicycle～」の後援について、後援事業のチラシの制作の原稿提出期限が其々教育委員会定例会に間に合わなく、例年承認している事業のため4件教育長専決により後援承認をしたことを報告した。

(3) その他

- ・木島平村奨学資金貸付金条例

○説 明

内堀教育長

それでは(3)その他の木島平村奨学資金貸付基金条例についてを私の方から説明させていただきます。資料8の木島平村奨学資金貸付基金条例というのがあります。これは条例の写しです。次に木島平村奨学資金貸付規則というのがあります。こんなかたちで今運用させていただいておりまして、最近、償還期間について従来は1.5倍であったのを2倍にしたという経過があります。お話をさせていただいてご意見を伺いたいと思ったのは、この中では特に具体的に書いていないのですが、高等学校、専門学校、短期大学、大学ということで、最近、木島平からも通信教育へ行く子どもたち、選択肢として選ぶ子どもたちがいるというような状況があります。そうした中で、ここでは高校とだけなので、全日制であろうと定時制であろうと、それから通信

であろうと同じ扱いをして行きたいというふうに考えておりますが、そういうご理解をいただきたいということであります。ちなみに高校生の助成ということで考えると、近隣を聞くと中野市、飯山市、山ノ内町は無いような話は聞いていますが、木島平の条例そのものを見れば高等学校と書いているだけで、ここに差はありませんので全てを対象にしたいと思っています。それについてご意見があればということで、敢えて出させていただいたということです。何かご意見ございますか。

お聞きしたところによりますと、通信教育については高かったり安かったりするんでしょうけど、平均的に3万円程度かかるというようなお話もあります。今の全日制の県立高校は9,900円というような状況です。今現在、高校生については奨学金が1万円ということになっているのですが、その額の議論も含めて、もしご意見があればいただいて、今後何ができるかを含めて考えて行ければということで皆さんのご意見をいただいて協議ということではなくて、その他ということで出させていただいたものです。何かご意見がありましたらお願いします。

○質 疑

池田委員

はい。

内堀教育長

はい、どうぞ。

池田委員

中学校を卒業して、進路に困っている若者がこの辺だけでなく、全県的な問題で、高校に進学できない理由として貧困問題がかなり急速に広がってきている。利用者が出るかどうかは置いておいて、奨学金制度として高校生を対象にした奨学金があるということは、しかも、通信制高校も含まれるというふうにするには、セーフティネットとして非常に大事ななと思っています。ちなみに、生活困窮していて中学校になかなか登校できなかった子どもも、通信制高校の中で就職を果たして税金を納めるまで出るというようなこともありますので、通信制の高校生への運用も含めて大事にさせていただければありがたいというふうに私は感じます。

内堀教育長 ほかに何かご意見ございますか。

佐藤委員 通信制の方が高いですね。

内堀教育長 高いです。実際にいくらかというのはわからない部分もあるのですが、平均すると3万円というふうに認識はしています。公立のこの辺りですと長野西高ですね、通信制もあります。どこを選択するかはそれぞれの子どもたちがいろいろな事情があるので、仮に民間でやられている通信制を選択された場合でも、村には奨学金があつてある程度の制約が、条例を読むからには制約をしているとは思えないので、できれば広くやった方が良いのかなあと。ちなみに国の制度に奨学支援金というのがあつたりするので、それも多分民間の通信教育だと最大9,900円ということになりますので、ある程度の所得制限がありますが、二つを合わせれば2万円ほど出るので、そういう意味では進学の基本を確保するという意味では非常に有効なのではないかと思っています。そんなことで、希望があるか無いかは今後の話ですけれども、制度とすればそういういわゆる民間のといいますか通信教育、通信の高等学校も含めて対象としているというスタンスでいかせていただきたいと思います。いかがでしょうか。

佐藤委員 良いと思います。是非。

内堀教育長 そんなことでご理解いただければと思いますのでよろしく願いします。

7 その他

(1) 当面の日程（諸行事・会議等）

山寄子育て支援課長が、当面する諸行事・会議等について説明した。

山寄子育て支援課長が、平成29年度第10回教育委員会の開催日程について提案し

た。全委員が了承し、「平成29年度第10回教育委員会を平成29年10月25日（水）午後3時30分から」開催することに決定した。

(2) 平成29年度調布市・木島平村教育委員会交流訪問について

山寄子育て支援課長が、10月23日、24日にかけて実施する平成29年度調布市・木島平村教育委員会交流訪問について資料9により説明する。併せて10月16日から10月23日にかけて行われる木島平中学校ルクセンブルク訪問交流について、9月村議会全員協議会提出資料により説明する。

内堀教育長 こちらからは以上ですが、全体を通して何かご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

池田委員 子ども議会を見に行けなかったのですが、保護者の方とか地域のお年寄りの方とか数人ですが、ふう太ネットを見て非常に感心していました。また、好評だったのではないかと思います。それから学校運営協議会の推進委員会の中でも何回か話はお聞きしていて、小学校の校長先生は地域に学ぶ、それから地域に発信していく力を大事にしていく。その上でも子ども議会の実施を発信、それから質問を受けてそれに対して答弁するそんなやりとりが学習の機会として有効だったのかなと感じました。コミュニケーション能力の向上という点でも非常に有効だったと感じました。学校運営協議会でも話題に載るようになりますので、スペースの制限もあるのですが、いろんな人たちが傍聴できるような工夫ができれば素晴らしいと思いました。学校の先生の負担にならないように、もし学校の方でそういったような方針があれば応援して行けたらと感じました。以上です。

内堀教育長 はい。ありがとうございました。

7 閉 会 午後4時47分